

田原市博物館 平成23年新春企画展

没後50年 日本一の水彩画家

中田恭一展

平成23年 1月5日(水)～2月13日(日) 平成22年10月23日(土)からプレ展示も開催中

休館日 ● 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)

開館時間 ● 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 ● 一般 400円(320円)／小・中学生 無料

※企画展開催時は小・中学生無料、毎週土曜日は高校生無料／()内は20名以上の団体割引料金

展示
解説

1月15日(土)・2月5日(日)

いずれも午前11時～／当館学芸員

※展示解説に参加希望の方は観覧料が必要となります。

同時
開催

「谷文晁と渡辺華山の山水画」／特別展示室

華山は17歳で谷文晁の画塾写山楼に通うようになります。

谷文晁筆:金碧群仙之図／渡辺華山筆:高士観瀑図など

次回予告 ● 2月19日(土)～3月27日(日) 中田恭一展・ひな人形展

中田恭一(1895～1960)は、渥美郡(現大草町)に生まれ、東京で教師をしながら、本郷洋画研究所に入所し、太平洋画会の石井柏亭・石川寅治に絵を学びます。三重県伊賀上野で教員となり、昭和2年の第8回帝展に初入選すると、3年連続で入選しました。のちに教員を退職し、埼玉県川口市に移ります。第14回・15回帝展も入選、昭和15年の「紀元2600年記念展覧会(第3回文展)」に入選、昭和18年には、紀元2603年全日本水彩画記録画に推奨されました。翌年、大草に戻り、終戦。戦後、生まれ故郷の大草で風景や肖像画を描き続けます。今回の企画展では、“風景”と“人物”をテーマとした画家の魅力を探ります。

田原市博物館

☎22局1720

http://www.taharamuseum.gr.jp



自画像/大正11年(1922)



伊良湖日出石門



波切(三重県)/大正12年(1923)



日本橋・白木屋



テーブル上